

**製品名: PLCG1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81780**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	148.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PLCG1
別名	PLC1; NCKAP3; PLC-II; PLC148; PLCgamma1
遺伝子 ID	5335.0
SwissProt ID	P19174
免疫原	大腸菌で発現したヒト PLCG1 (AA: 39-181) の精製された組み換え断片。

**背景**

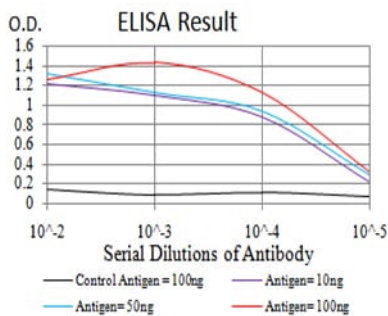
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸からイノシトール 1,4,5-トリスリン酸とジアシルグリセロールの生成を触媒します。この反応はカルシウムを補因子として利用し、受容体型チロシンキナーゼ活性化因子

の細胞内伝達において重要な役割を果たします。例えば、SRCによって活性化されると、このタンパク質は Ras グアニンヌクレオチド交換因子 RasGRP1 をゴルジ体へ移行させ、そこで Ras を活性化します。また、このタンパク質はヘパリン結合成長因子 1 (酸性線維芽細胞増殖因子) 活性化チロシンキナーゼの主要基質であることも示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見出されています。

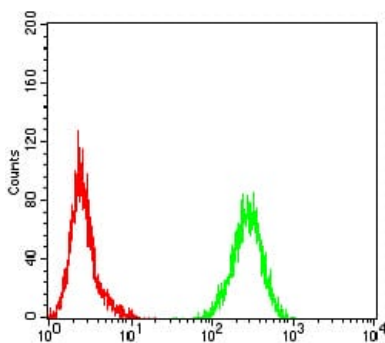
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



PLCG1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。